

## 【西尾市の新型コロナウイルス対策】R3.3.3 現在

今年になってから感染拡大が広がり、愛知県は1月14日に緊急事態宣言が発令されました。2月の後半になり新規の感染者数と入院の状況が落ち着いてきているとして2月末をもって解除されましたが、再び感染が拡大することがないよう引き続き市民に感染対策に努めるよう協力が求められています。

○支援制度は、国や県の方針に倣っていますが、西尾市独自の対策、支援策として、これまでに19億7千万円余の予算措置を講じています。今後についても更なる追加対策を検討しています。また、項目としては経済対策など67項目の対策を講じています。詳しくは、市のホームページなどを参考にしてください。

○今年になってからの西尾市独自の感染症対策としては、妊婦健康診査や産婦健康診査を受診するために利用するタクシー料金の一部助成、PayPayを活用した消費拡大対策キャンペーン、岩瀬文庫へのオンライン音声ガイドの導入、小中学校への校内映像放送設備の設置などありますが、更に、今後も国の臨時交付金を活用した市独自の新たな追加対策を講じていく予定です。

○PCR検査は以前、保健所が検体を採取して県の衛生研究所で判定を行っていましたが、昨年の10月26日からは開業医でも取り扱えるようになりました。また、最近では、病院に行かず金額も安く簡単に検査ができると報道されています。西尾市の医療機関での検査件数は、12月が495件、1月が663件となっています。

○西尾市は感染者が多いと言われることがあります。隣の安城市は西尾市に比べて少ないですが、人口比率でみますと西尾市は西三河で少ない方です。

○市民が最も関心があり期待されているワクチン接種

- ・医療従事者から始まり、4月下旬から高齢者、その後基礎疾患のある人、高齢者施設等の従事者、一般市民と順次進めていくとされています。
- ・現在は、国の接種スケジュールに沿った形で実施できるように準備を進めています。
- ・ワクチンの配分については人口規模に応じて配分されます。
- ・接種体制については、医療機関で受ける個別接種と公共施設等で受ける集団接種の併用です。集団接種は、文化会館、勤労会館、市役所、旧吉良支所、看護専門学校、コンベンションホールの6か所で、ローテーションにて毎日2会場で実施します。開設時間は、平日と土曜日は午後1時半から午後3時半まで、日曜日は午前9時から正午まで又は午後1時半から午後3時半までです。
- ・相談体制として、接種方法の問い合わせや集団接種の予約を受けるコールセンターを設置します。集団接種の予約に関しては、コールセンターだけでなく、コミュニケーションアプリのLINEを活用できるよう準備を進めています。
- ・現時点では、接種開始時期やワクチンの流通状況など不明な点も多く、今後変更が生じる可能性もありますが、国や県の情勢に注視し、ワクチン接種がスムーズに開始できるよう準備を進めています。

国民の願いは、コロナが早く終息して安心して暮らせる社会であります。終息後の社会はどのように変わらるのか。デジタルトランスフォーメーションや社会構造の変化、人々の行動変化など新しい社会像、社会的価値観が生まれてきます。国、県と共に西尾市、そして渡辺信行も安心の未来へ向けた持続可能な社会の実現に向けて努力してまいります。